平成２７年度　新体操１種審判認定試験　問題集

総則

１．個人／団体において、選手が演技を繰り返すことができないのは、次のどの場合か？
ａ．演技中、アリーナの電気が消えた場合。
ｂ．選手が投げた手具が天井にひっかかり、取り戻せない場合。
ｃ．フープの演技の際、その選手のボールの演技の曲がかかった場合。
ｄ．演技の最中、サウンドシステムにおいて、音楽を邪魔する大きな音がしている場合。

２．フープの演技の際、選手の投げたフープが遠くに飛びすぎて、演技面の境界線の外に弾んで出てしまったが、フープが戻ってきた。コーディネータージャッジによる減点は何点か？
ａ．０．３０
ｂ．０．１０
ｃ．減点なし
ｄ．上記のいずれでもない。

３．リボンの演技の際、選手が演技面を超えて大きな円を描いたが、リボンは床にはつかなかった。コーディネータージャッジによる減点は何点か？
ａ．０．３０
ｂ．０．１０
ｃ．減点なし。
ｄ．上記のいずれでもない。

４．ボールの演技の際、ボールを落下し、それを取り戻すために選手がラインの外に出た。コーディネータージャッジによる減点は何点か？
ａ．０．３０＋０．３０
ｂ．０．３０＋０．１０
ｃ．０．１０＋０．１０
ｄ．０．３０

５．団体の演技において、選手の一人が手具を手にして足が演技面をでた状態で演技を終えた。コーディネータージャッジによる減点は何点か？
ａ．減点なし（最後の動き）
ｂ．０．３０
ｃ．０．１０
ｄ．０．５０

６．演技の最後に、選手は最後の投げでフープを受けようとして、フープを落下し演技面を超えてしまった。コーディネータージャッジによる減点は何点か？

ａ．減点なし（最後の動き）
ｂ．手具が演技面を出たので０．３０
ｃ．手具が演技面を出たので０．１０
ｄ．上記のいずれでもない。

７．ボールの演技の際、手具を演技面の外に落下し、線審がボールを渡し、選手は演技を続けた。許可されない取り戻しに対してのコーディネータージャッジの減点は何点か？
ａ．０．７０
ｂ．０．３０
ｃ．０．５０
ｄ．減点なし。

８．団体の演技中にリボンが破損した場合、選手／団体は次の事をしても良い。
ａ．演技をやりなおす。
ｂ．手具の損失に対し、Ｅジャッジによる０．５０の減点
ｃ．破損した手具で演技を続ける。
ｄ．予備手具を使用する。

９．クラブの演技中、選手は最後の動きにおいて、クラブを足で受けようとした。受けの時クラブが２つに折れてしまった。減点は何点か？
ａ．破損した手具の使用で、コーディネータージャッジによる０．５０
ｂ．演技は評価されない。
ｃ．Ｅジャッジによる０．７０
ｄ．減点なし（最後の動き）

１０．選手が膝に青色のサポーターをして演技をした。コーディネータージャッジによる減点は何点か？
ａ．減点なし。
ｂ．０．３０
ｃ．０．５０
ｄ．上記のいずれでもない。

１１．コーディネータージャッジによる減点０．５０ではないのは次のどれか？
ａ．選手または団体選手の入場が早い、または遅い。
ｂ．競技場内でのウォーミングアップ
ｃ．演技中に団体選手同士が声を掛け合う。
ｄ．選手の服装違反。

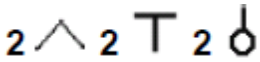
１２．次のうち正しいのはどれか？
a. 個人演技の難度（D）は次のもので構成される：身体の難度（D）、ダンスステップコンビネーション（S⇒）、手具のマステリー（M）

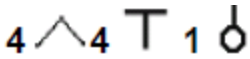
b. 個人演技の難度（D）は次のもので構成される：身体の難度、ダンスステップコンビネーションと回転を伴ったダイナミック要素

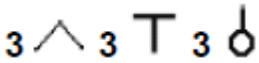
c. 個人演技の難度（D）は次のもので構成される：身体の難度（D），ダンスステップコンビネーション（S ）、回転と投げを伴ったダイナミック要素 そして手具のマステリー（M）

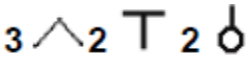
d. 上記の全てが正しい。

１３．個人の演技において、次の身体難度のグループのうち正しくないのはどれか？

a. 

b. 

c. 

d. 

１４．マルチプルローテーション難度についての記載のうち、正しくないのは次のどれか？

a.　ピボットを２つもしくはそれ以上と「フェッテ」を踵支持で演技した場合、2 つの難度とカウントする。

b.　ピボットを２つもしくはそれ以上を違う形で踵支持なしでつなげた場合、1 難度とカウントする。

c.　２つもしくはそれ以上の同じ形、もしくは違う形の「フェッテ」を踵支持ありでつなげた場合、1 難度とカウントする。

d.　つなぎにはボーナスは与えられない。

１５．ミックス難度に関して次のうち正しくないのはどれか？

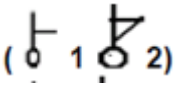
a.　同じもしくは異なる身体の要素グループから２つもしくはそれ以上の違う難度。

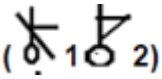
b.　各構成要素はそれぞれ１難度とカウントする。

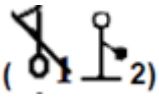
c.　ローテーション難度は、プリエ・ルルベ、もしくはルルベから踵をつけて、もしくはもう１つの身体の部分、のいずれかにつなげることができる。

d.　中断なしにつなげたミックス難度＝難度の価値＋０．２０

１６．次のマルチプル回転とミックス難度の価値のうち、正しくないのはどれか？

a.  = 0.20+0.20+0.10

b.  =0.00+0.20

c.  =0.00+0.60

d. (1 2) =0.40+0.60+0.10

１７．次のうち正しいのはどれか？

a.　各身体の難度は、1 度だけ、単独で、もしくはマルチプル難度の 1 部として、もしくはミックス難度としてカウントされる。

b.　回転の有無、側転、身体の回転の回数、「スローターン」、もしくは身体の波動にかかわらず、同じ形の繰り返しはカウントされない。

c.　例外として、同じジャンプや回転のシリーズの場合（最高３つ)、同じ形の繰り返しは、難度がカウントされる。

d.　上記全て正しい。

１８．次のうち正しくないのはどれか？

次のように実施されれば、身体の難度は有効となる：

a.　単独の難度中、もしくはマルチプルローテーション難度とミックス難度の各構成要素中に、各手具特有の基礎技術要素を最低１つ伴う。

b.　難度の実施中の手具の落下なし。　2 本のクラブを含む。

c.　手具の静止なし。

d.　「ホップ」の後に実施される回転は有効とならない。これらの回転は失敗する前のもののみ有効となる。

１９．次のうち正しくないのはどれか？

a.　演技中、選手はルルベで１回、踵をつけて１回、「スローターン」を行う事ができる。

b.　膝支持、腕支持、もしくはコサックでの「スローターン」は認められていない。

c.　側転や回転などの身体の回転要素（)、そして／もしくは身体全体の波動（ ）を伴う要素は、難度の前もしくは後に加えることができる。ただし、これらの要素は難度と直結して終えなければならない、もしくは難度の終わりにすぐに始めなければならない。

d.　同じ身体の回転要素の繰り返しは、許されない。

２０．　次のシーケンスで正しくないのはどれか？

３つのジャンプの難度のシリーズでは、次の演技が可能である：

a.　↗最初のジャンプで大きな手具の投げ、↓2 番目のジャンプの間に手具の受け、3 つ目のジャンプの間に手具の操作∞

b.　↗最初のジャンプで手具の投げ、手具が空中にある間 2 番目のジャンプ、↓3 番目のジャンプで手具の受け

c. ↗手具の投げ、手具が空中にある間に2回のジャンプ、↓3番目のジャンプの間に手具の受け

d. 3つのジャンプの間に、3つの異なるタイプの手具の操作∞

２１．　次のうち正しいのはどれか？

a. 演技の中には手具の基礎技術グループを優位に取り入れなければならない（５０％以上）

b. Ｄ審判による減点：　各手具特有の基礎技術グループの優位性の欠如、０．５０

c. 手具の技術要素に限度はないが、同じものを実施することはできない。

d. 上記全て正しい。

２２．　次のうち正しくないのはどれか？

a. 不安定なバランスの要素 は、手具の静止と考えられる。ただし、回転を伴う身体の動きの中で、背中にバランスしているボールとクラブを保持することは例外。

b. 身体の一部上による不安定なバランス は、１つを超える身体の動きの間に、手具が身体の一つもしくはいくつかの部分でしっかり保持・挟まれていると価値は認められない。＋　手具の静止に対する減点。

c. 手具の静止：　手具が難度の準備動作、難度そのもの、または２つの連続する難度において保持されている。

d. Ｅ審判による減点：　手具の静止０．３０点。

２３．　１つの演技の中で、回転と投げを伴ったダイナミック要素の数に関して、下記のうち正しいのはどれか？

a. 最低１。

b. 最低１、最大３。

c. なし、もしくは最大３。

d. 上記のいずれでもない。

２４．手具のマステリーに関連して、次のうち正しくないどれか？

a. マステリーの手具要素の使用は最大5個までとする。申告書には、手具の熟練度はＭ（価値０．３０）のように記載する。

b. 手具のマステリーは、手具の要素の組み合わせから構成され、一般的でない／オリジナルな手具要素を含まなければならない。

c. マステリーの要素の価値は、身体の難度（D）もしくはダンスステップコンビネーション

S → に追加して与えられることはない。

d. 手具のマステリーは、投げの有り無しや、視野外などを伴って行うことができる。

２５．　次のミスに対する正しい減点はどれか？　減点するのは誰か？

空間の使用：

a.　高さの多様性の欠如（選手は空中、立位、床上、など）：

　　Ｅ審判により 0.20

b.　身体／手具の動きの方向の多様性の欠如（前方、後方、など）

　　Ｅ審判により 0.30

c.移動の高さ、方向、形態の多様性の欠如

　　Ｄ審判により 0.30

d.演技面が完全に使用されていない

　　Ｄ審判により 0.20

ロープ

１．　ロープの演技に、5 つのジャンプ、2 つのバランス、2 つのローテーションが含まれる。どれが正しいか？

a.　９つの難度があるので、問題ない。
b.　ジャンプはロープの必須の身体の動きなので、正しい。
c.　演技に各身体の動きグループから最大 4 つの難度を入れることができる。０．３０の減点である。
d.　演技に各身体の動きグループから最大 4 つの難度を入れることができる。０．２０の減点である。

２．　ロープをくぐり抜け、ダンスステップコンビネーションの間、≪エシャッペ≫を行った。この間：
- ロープのくぐりぬけようとした時、ロープに足がひっかかった。
- この短い中断の後、ステップを続け、≪エシャッペ≫を演技した。

正しいのはどれか？

a.　正しいダンスステップコンビネーションではないので、D ジャッジによる減点となる。
b.　ダンスステップコンビネーションが申告書にあるので、D ジャッジによる減点はない。E ジャッジによる減点である。
c.　D ジャッジ、E ジャッジ、両ジャッジによる減点となる。
d.　D ジャッジによる０．３０の減点。

３．　ロープの演技の間、バックルを伴う開脚ジャンプの記号が、申告書上で正しくなかった。正しいのはどれか？

a.　難度としてカウントされず、減点はない。
b.　難度としてカウントされず、減点がある。
c.　難度としてカウントされる。
d.　上記のどれでもない。

４．　ロープの演技の間、選手は次のミスをした。
- 手具の静止。
- 許可されていないプレアクロバット要素。
- 手具を落下し、2 歩移動してから取り戻した。

正しいのはどれか？

a.　０．９０
b.　１．００
c.　１．１０
d.　１．３０

５．　ロープの演技の間、選手は次のミスをした。
- ロープの片端を失い、すぐに取り戻した。
- ロープの不正確な操作、3 回
- ジャンプの後、着地が重かった。

減点は何点か？

a.　０．３０
b.　０．４０
c.　０．５０
d.　０．６０

６．　ロープの演技の間、選手は次のミスをした。
- ロープに結び目ができたが、ジャンプを伴ってくぐりぬけをすることができた。
- ジャンプの形の大きさが足りなかった。
- ジャンプを伴ってロープをくぐりぬけ、その後ロープの片端を失い、そしてバランスを失って片手で支えた。

減点は何点か？

a.　０．５０
b.　０．７０
c.　０．８０
d.　上記のいずれでもない。

７．　ロープの演技の間、選手は次のミスをした。
- ロープの片端を失い、演技を短く中断。
- ロープに足がひっかかった。
- 不注意で足に巻きついた。
- 演技の終了時に手具との接触がなかった。

減点は何点か？

a.　１．００
b.　１．２０
c.　１．３０
d.　上記のいずれでもない。

８．　ロープの演技の間、選手は次のミスをした。
- バランス中に≪エシャッペ≫、不正確な大きさで不正確な受け
- バランスを失い、移動して余分な動きを入れた。

減点は何点か？

a.　０．３０
b.　０．４０
c.　０．５０
d.　上記のいずれでもない。

９．ロープの演技中、選手はミックス難度を行った。
- パッセピボットで、2 つ折りにしたロープを頭の上で 3 回回転させた。
- パンシェローテーションで、≪エシャッペ≫
正しいのはどれか？

a.　両方とも難度として有効である。
b.　パッセピボットのみ難度として有効である。
c.　パンシェローテーションのみ難度として有効である。
d.　両方とも難度として無効である。

１０．ロープの演技の際、選手はミックス難度を行った。
- ジャンプ難度を伴って、ロープを 2 つ折りにし頭の上で 2 回回した。
- 着地した足でバランス難度、「エシャッペ」を伴って。
正しいのはどれか？

a.　ミックス難度として有効。
b.　ミックス難度の２難度として有効。
c.　ジャンプ難度は無効、バランス難度のみ有効。
d.　つなぎに対する追加点、０．２０が加点される。

１１．正しくないのは、次のどれか？

a.　ミックス難度では、各難度は 1 難度とカウントする。
b.　同じ形の身体の難度の繰り返しは許されない。
c.　同じ形のジャンプ／リープ難度は最大 2 回まで行うことができる。
d.　ジャンプ／リープ難度は、空中にて形が固定して明確であること。

１２．　正しくないのは、次のどれか？

a.　ジャンプ／リープ難度は、手具との関連性なしでは行うことができない。
b.　ミックス難度の際、ジャンプ／リープからバランス難度への移行の際、つなぎとしての補助ステップは入れずに行う。
c.　ジャンプ／リープのシリーズとして、2 つの同じジャンプを続けて行うことができる。
d.　最低でも 1 つの基礎技術グループがジャンプ／リープ難度中には必要である。

１３．　正しくないのは、次のどれか？

a. マルチプルローテーション難度の間、3 つの難度において全く中断がなかった場合、ボーナスとして０．１０もらえる。

b. マルチプルローテーション難度は１難度としてカウントされる。

c. ミックス難度中の各構成要素は１難度としてカウントされる。

d. ジャンプ／リープとバランスの難度を含んだミックス難度を行った場合、もしバランス難度ができなかった場合は、ジャンプ／リープ難度のみがカウントされる。

１４．　次の難度の価値はどれか？

	1step	without step	
a	0.70	0.30	0.50
b	0.70	0.40	0.50
c	0.60	0.30	0.60
d	0.60	0.30	0.60

１５．　次の要素の記号はどれか？

- 回しのシリーズ、ロープは２つ折り。

a.

b.

c.

d.

１６．　次の要素の記号はどれか？

- 開いたロープの端を持って１回転させる。

a.

b.

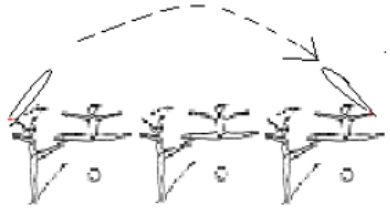
c.

d.

１７．　次の要素の合計価値はどれか？

- 回転開脚ジャンプをしながらのロープの投げ、ロープが空中にある間、回転開脚ジャンプ、シリーズの３回目のリープでロープを受け。

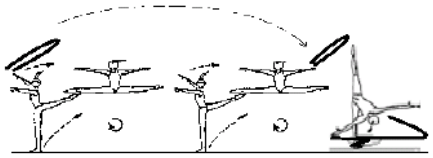
	Value
a.	1.50
b.	1.00
c.	1.10
d.	0.90



１８．次の要素の合計価値はどれか？

- ロープのくぐりぬけを伴った回転開脚ジャンプ 2 回（シリーズ）の後にステップを入れずに 1 回の「パンシェ」ローテーションをエシャッペで行った。

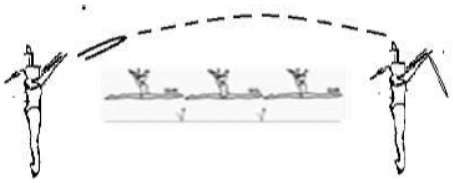
	Value
a.	0.80
b.	1.00
c.	1.50
d.	1.20



１９．次の要素の合計価値はどれか？

ロープの投げ、ステップなしの 3 回連続のジャンプ／リープ、ロープの受け

	Value
a.	0.50 3—
b.	0.60 —
c.	0.40 3—
d.	0.00



２０．次のジャンプ／リープの記号と価値はどれか？

a	0.40
b	0.30
c	0.50
d	0.30

２１．次のジャンプ／リープの記号と価値はどれか？

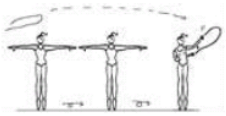
a	0.20
b	0.40
c	0.20
d	0.30

２２．次のジャンプ／リープの記号と価値はどれか？

	a	0.50
	b	0.40
	c	0.30
	d	0.40

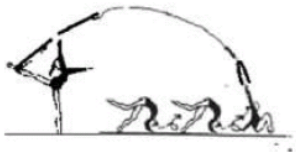
２３．次のＤＥＲの記号と価値はどれか？

ロープの投げ、ダブル・シェネの後、ロープの両端を受け、片手は後ろ。

	Value		
a.	R 2	0.20	
b.	R 2	0.40	
c.	R 2	0.40	
d.	R 2	0.50	

２４．次のＤＥＲの記号と価値はどれか？

片足で後ろからロープの投げ、前転２回の直後に受け。

	Value		
a.	+ R 2	0.40	
b.	R 2	0.30	
c.	R 2 =	0.30	
d.	R 2	0.20	

２５．次の DER の記号と価値はどれか？

ロープを後ろから足で投げ、前転２回の直後に後屈を伴うバランス中に足での受け。

	Value		
a.	R 2	0.30	
b.	R 2	0.40	
C.	R 2 +	0.50	
d.	+ R 2 +	0.60	

２６．以下の文章でロープの演技でジャンプ／リープ難度について正しいのはどれか？

- バックルを伴う開脚ジャンプ
- その後、両足踏切でのバックルを伴う開脚ジャンプ。

a. バックルを伴うジャンプ／リープ、両方共、有効。
b. これらは、バックルを伴う違う形のジャンプ／リープの難度として有効。
c. これらは、同じ形のジャンプ／リープであるので、最初のジャンプ／リープのみ有効。
d. これらは、同じ形のジャンプ／リープであるが、選手は両方のジャンプ／リープを難度として使うことができる。

２７．以下の文章でロープの演技で難度について、正しく述べているのは次のどれか？

- 前屈を伴う水平のバランス、ロープは 2 つ折りにして背中にのせる。
- 頭上でのロープの 2 回の早い回転を伴うローテーション。

a. バランスとピボット、両方の難度が有効。
b. バランス難度に基礎技術要素が伴っていないので、ローテーションのみ有効。
c. ピボット難度に基礎技術要素が伴っていないので、バランスのみ有効。
d. 上記のいずれも正しくない。

２８．ロープの演技で正しいのはどれか？

- 3 回連続で同じ形のジャンプ／リープ

a. 0.3＋0.3＋0.3
b. 0.4＋0.10＋0.4＋0.10＋0.40
c. 0.4＋0.4＋0.4
d. 上記のいずれでもない。

２９．ロープの演技で正しいのはどれか？

- 胴の後屈を伴った開脚リープを行った後、直接、着地の足で 2 回転のピボット。しかし最初の回転の後、踵をついてしまった。

a. 0.30＋0.50
b. 0.40＋0.30＋0.10
c. 0.30＋0.30
d. 0.40＋0.30

３０．ロープの演技で正しい価値はどれか？

- 踵支持で胴は水平の高さでの身体のバランス( )を≪エシャッペ≫を伴って。

a. 0.50
b. 0.40
c. 0.30
d. 0.20

フープ

１．フープの演技にはいくつのジャンプ／リープ難度が含まれていなければならないか？

a.　最低４つ
b.　２つから４つ
c.　１つから４つ
d.　上記のどれでもない

２．フープの演技にはいくつのバランス難度が含まれていなければならないか？

a.　４つもしくは４つ未満
b.　３つ、もしくは４つ
c.　２つから４つ
d.　上記のどれでもない

３．次の難度は誰によって何点が与えられるか？
開脚ジャンプの空中で、左手でフープを保持。

a.　0.3：Ｄジャッジ
b.　0.2：Ｄ審判団の１審
c.　0　：Ｄジャッジ
d.　0.3：Ｄ審判団の１審

４．次のフープの演技で減点は何点か？
４つのジャンプ／リープ難度、２つの回転難度、４つのバランス難度。

a.　0.30＋0.30＋0.30：Ｄジャッジ
b.　0.30＋0.30：Ｄジャッジ
c.　0.50：　Ｄジャッジ
d.　減点なし

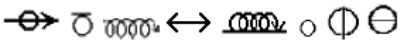
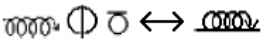
5．次のフープの演技において、誰により何点の減点となるか？
規定の数に対し、追加のバランス難度があり、回転難度が不足だった。

a.　0.30：　Dジャッジ
b.　0.50：　Dジャッジ
c.　0.60：　D審判団のジャッジ１審
d.　0.30＋0.30：Dジャッジ

6．次のフープの演技において、誰により何点の減点となるか？
2 つのバランス、4 つの回転と 3 つのジャンプ／リープ

a.　0.30＋0.30＋0.30：　D１ジャッジ
b.　0.30：　Dジャッジ
c.　0.30＋0.30：　D１ジャッジ
d.　減点なし

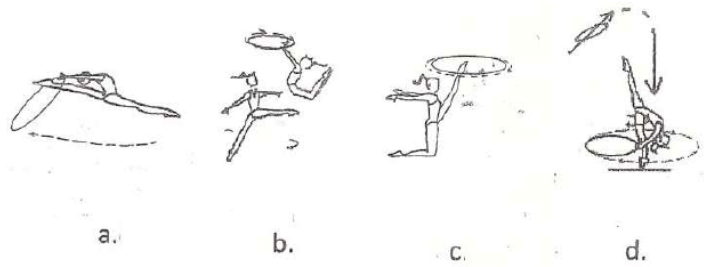
7．フープの基礎技術グループの記号はどれか？

a. 
b. 
c.
d.上記のいずれでもない。

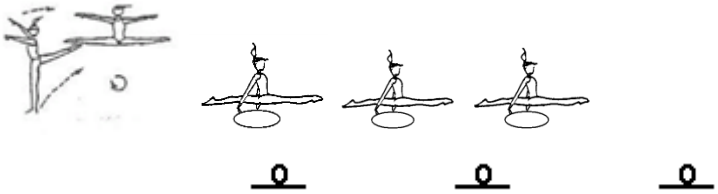
8．次の操作のうち、フープのその他の手具の技術グループに含まれないのはどれか？

a.
b.
b.
d.上記のいずれでもない。

9．0.10 の価値をもつのは、次のどの難度か？

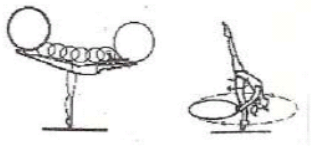


１０．選手は３回の回転開脚ジャンプ（シリーズ）で、各回転において足の下でのフープの持ち替えを伴って行った。
この身体の難度の価値はどれか？



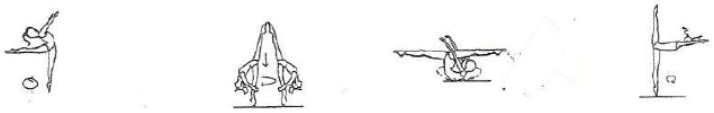
a.　0.20＋0.10＋0.20＋0.10＋0.20＝0.80
b.　0.50＋0.50＋0.50＝1.50
c.　0.30＋0.30＋0.30＝0.90
d.　0.30

１１．次のミックス難度に対する価値はどの審判によって評価されるか？
身体全体でのフープの長いころがしを伴う前方スケールを行い、動脚を高く上げ、胴は水平よりも低い位置に後屈し 360 度回転する際、フープを回転させながら足ではずみをつけてバランスポジション。



a.　0.20＋0.20＋0.20：Ｄジャッジ
b.　0.40＋0.50＋0.10＝Ｅジャッジ
c.　0.40＋0.40＋0.20＝Ｄジャッジ
d.　0.40＋0.50＋0.10＝Ｄジャッジ

１２．次の回転難度（360 度）の価値はどれか？



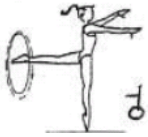
a.	0.5	0.5	0.4	0.4
b.	0.3	0.3	0.4	0.4
c.	0.4	0.5	0.4	0.5
d.	0.5	0.4	0.5	0.5

１３．次の回転難度の価値はどれか？

（７２０°） （１４４０°）（ ３６０°＋ ７２０°） ３６０°

a.	0.6	0.4	0.6	0.3
b.	0.7	0.6	0.8	0.4
c.	0.8	0.4	0.9	0.3
d.	0.5	0.8	0.7	0.4

１４．フープの演技で、選手は 720 度の「アラベスク」ピボットを行った。2 回目の回転で 1～2 歩動き完全にバランスを失い転んだ。ピボット難度の価値はいくつで実施減点は何点か？



a. D －0.60、E －0.50
b. D －0.20、E －0.40
c. D －0.60、E －0.70
d. D －0.00、E －0.70

１５．実施減点の合計は何点か？

フープの演技で、選手は以下の実施ミスをした。

- 一度の転がしの間に 3 回フープがバウンドした。
- 演技の大部分において、身体と顔の表現に欠けていた。
- フープを一度落下して、1 歩で受けた。

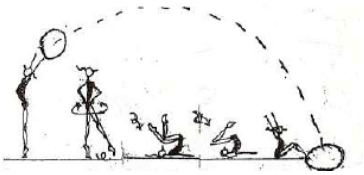
a. 0.90
b. 1.10
c. 1.30
d. 上記のいずれでもない。

１６．選手は音楽の後に演技を終え、演技の終了時に手具を喪失していた。減点は何点か？

a. 0.90
b. 0.60
c. 1.00
d. 1.20

１７．次の回転と投げを伴うダイナミック要素の価値はどれか。（R）

視野外でフープを投げ、シェネを１回の後、2 回前転してすぐに床上で手以外での受け。



a. 0.50
b. 0.40
c. 0.60
d. 0.70

１８．次の回転と投げを伴うダイナミック要素の価値はどれか。（R）

イリュージョン中に手以外・視野外でフープを投げ、前転３回、床にあおむけになって足での受け。

a. 0.70
b. 0.60
c. 0.90
d. 0.50

１９．実施減点合計は何点か？

フープの演技中、選手は次の実施ミスをした。

- フープを 2 回落下、移動なしで取り戻した。
- 回転の間に 2 回ホップがあった。
- 5 回、音楽のリズムと動きにおいてハーモニーに欠けた。

a. 0.90
b. 1.00
c. 0.10
d. 上記のどれでもない

２０．実施減点合計はどれか？

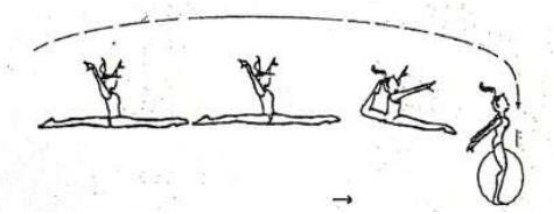
フープの演技で選手は、次の実施ミスをした。

- 3 回、不正確な軌道で 3 歩もしくはそれ以上移動し空中で受けた。
- 2 回、不正確な軌道で 2 歩移動し空中で受けた。

a. 1.20
b. 1.10
c. 1.30
d. 0.90

２１．次のジャンプのコンビネーションの価値はどの審判によって評価されるか？

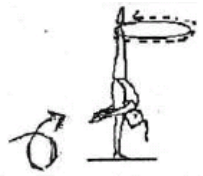
ステップなしの 2 回連続開脚ジャンプの前にフープの投げ、1 歩、バックルを伴った開脚ジャンプ。両脚の間でフープを受ける。



a. 0.60：　Ｄジャッジ
b. 0.90：　Ｄジャッジの 1 審
c. 0.00：　Ｄジャッジ
d. 上記のいずれでもない

２２．次の身体の難度要素の価値はどれか？

床上で始め、側転、踵を下げたパンシェのバランス、動脚でフープを 2 回まわす。



a. 0.40
b. 0.60
c. 0.80
d. 上記のいずれでもない。

２３．減点は何点で、誰によって与えられるか？

選手は３回の大きな投げの後、不正確な軌道で３歩移動してのフープの受けが３回あった。

a. 0.60　Ｅジャッジ
b. 0.30　Ｄジャッジ
c. 0.90　Ｅジャッジ
d. 0.90　Ｄジャッジ

２４．どの文章が正しいか？

a. フープの演技で、４回にわたって回転を伴うダイナミック要素を行った。
b. フープの演技で、１度は単独で、１度はミックス難度で、難度を繰り返すことができる。
c. フープの演技で、単独であろうと、ミックスもしくはマルチプルであろうと、難度は繰り返すことはできない。
d. 上記の全てが正しくない。

２５．演技中に、「アラベスク」でピボットを行った。

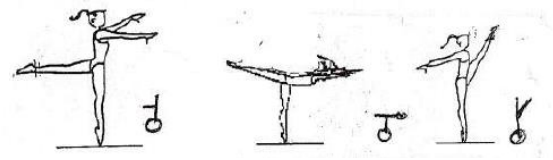
脚と手の間の不安定な位置のフープ：
この難度は価値があるか？ない場合は、減点はどれで誰によるものか？

a. 難度は有効。減点なし。
b. 難度は無効、Ｅジャッジによる手具の静止に対して減点　－0.30
c. 難度は無効、Ｄジャッジによる手具の静止に対して減点　－0.30
d. 上記のいずれも正しくない。

２６．この難度の価値はどれか？

a. 0.10
b. 0.30
c. 0.50
d. 上記のいずれも正しくない。

２７．フープの演技で、このミックス難度は有効か？



a. 有効でない。全ての難度が取り消される。
b. 有効。
c. 有効。しかし多様性が不十分なため減点がある。
d. 2 つめの難度がキャンセルされる。

２８．この難度のグループはどれか？

a. 柔軟
b. ピボット
c. 回転
d. バランス

２９．フープを伴って右手と左手の間でのバランスの欠如に対しての実施減点はどれか？

a. 0.20
b. 0.30
c. 050
d. 減点なし。

３０．フープの演技には、回転難度はいくつ入れないといけないか？

a. 最低 1 回。
b. 最大 4 回。
c. 最低 2 回、最大 4 回。
d. 上記のいずれでもない。

ボール

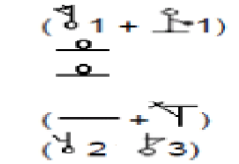
１．ボールの演技の最後の動きで、ボールを落下し、演技を音楽と共にボールを喪失したまま終えた。ボールは演技面の左側へ場外した。減点はどれか？

a.　０．７０　－　Ｅジャッジによる。演技の終了時に手具の喪失（手具との接触がない）ため。
　　０．３０　－　コーディネータージャッジによる。手具が演技面外へ出たため。
b.　０．７０　－　Ｅジャッジによる。演技の終了時に手具の喪失（手具との接触がない）ため。
　　０．００　－　コーディネータージャッジによる。演技の終了時に手具が演技面外へ出たのは減点にならない。
c.　０．５０　－　Ｅジャッジによる。演技の終了時に手具の喪失（手具との接触がない）ため。
　　０．００　－　コーディネータージャッジによる。(演技の終了時に手具が演技面外へ出たのは減点にならない。)
d.　０．５０　－　Ｅジャッジによる。演技の終了時での手具の喪失（手具との接触がない）ため。
　　０．２０　－　コーディネータージャッジによる。手具が演技面外へ出たため。

２．ボールの演技の際、演技面外にボールを喪失した。ボールを取り戻したとき、選手は演技面内だった。減点はどれか？

a.　０．７０　－　Ｅジャッジによる。手具を演技面外に喪失した。(距離に関係なく)
　　０．３０　－　コーディネータージャッジによる。手具が演技面外に出た。
b.　０．７０　－　Ｅジャッジによる。手具を演技面外に喪失した。(距離に関係なく)
　　０．６０　－　コーディネータージャッジによる。手具が演技面外に出た（０．３０）＋選手が演技面外に出た。（０．３０）
c.　０．７０　－　Ｅジャッジによる。手具を演技面外に喪失した。(距離に関係なく)
　　０．００　－　コーディネータージャッジによる。選手は演技面内にいたため。
d.　０．５０　－　Ｅジャッジによる。手具を演技面外に喪失した。(距離に関係なく)
　　０．２０　－　コーディネータージャッジによる。手具が演技面外に出た。

３．ボールの演技において、次の身体の難度を行った。



この演技における難度の数の合計はどれか？

a.　１１の身体の難度
b.　５つの身体の難度
c.　７つの身体の難度
d.　８つの身体の難度

４．上記質問３において、Ｄジャッジによる減点はどれか？

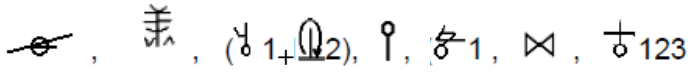
a.　０．５０　　９つを超える難度を申告したため。

b.　０．５０　　６つに満たない難度を申告したため

c.　０．３０　　各身体の動きのグループから２つに満たない難度を申告したため。

d.　０．６０　　各身体の動きのグループから２つに満たない難度を申告したため、
各不足の難度に対して減点。

５．ボールの演技において、次の難度を行った。



この演技においてローテーション難度の数はいくつか？

a.　５つのローテーション難度

b.　７つのローテーション難度

c.　６つのローテーション難度

d.　４つのローテーション難度

６．質問５の演技について、Ｄジャッジによる減点はどれか？

a.　各身体のグループの難度が４つを超えていることで０．３、許可されている難度の数を超えた各難度に対して減点。

b.　各身体のグループの難度が２つに満たないことで０．３。各不足の難度に対して減点。

c.　a のみ。

d.　a と b 両方。

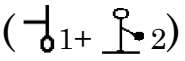
７．ボールの演技において、申告書は ２を申告したが、実際は、 ２であった。Ｄジャッジはどのように扱うか？

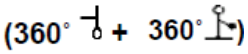
a.　難度はカウントされない。減点なし。

b.　難度はカウントされない。不正確な記号に対して０．３０の減点

c.　難度は有効。不正確な記号に対して０．３０の減点

d.　難度は有効。減点なし。

８．ボールの演技において、申告書では次のミックス難度を申告した。 

試合中に選手が演技したのは、  であった。価値はどれか？

a.　０．３０＋０．４０＝０．７０

b.　０．００　申告したものを演技しなかったため

c.　０．３０＋０．４０＋０．１０つなぎ＝０．８０

d.　０．３０＋０．４０＋０．２０つなぎ＝０．９０

９．ボールの演技において、申告書では次のミックス難度を申告した。(1+ 2)

試合中に選手が演技したのは、 (320° + 720°)であった。価値はどれか？

a.　０．００
b.　０．００＋０．６０＋０．１０つなぎ＝０．７０
c.　０．００＋０．６０＋０．００つなぎ＝０．６０
d.　０．００＋０．４０＋０．２０つなぎ＝０．２０

１０．ボールの演技において、申告書では次のミックス難度を申告した。(1+ 2)

試合中に選手が演技したのは、 (360° +hop + 360°)であった。価値はどれか？

a.　０．００
b.　０．３０＋０．４０＋０．００つなぎ＝０．７０
c.　０．３０＋０．００＋０．００つなぎ＝０．３０
d.　０．３０＋０．００＋０．１０つなぎ＝０．４０

１１．ボールの演技において、申告書は次の身体のマルチプルローテーション難度を申告した。(2 1)

価値はどれか？

a.　０．３＋０．３＋０．３＋０．１つなぎ＝１．００
b.　０．３＋０．３＋０．３＋０．２つなぎ＝１．１０
c.　０．３＋０．２＋０．７＋０．１つなぎ＝１．３
d.　０．３＋０．３＋０．３＝０．９

１２．ボールの演技において、申告書では次の身体のマルチプルローテーション難度を申告した。(2 1)

試合中に選手が演技したのは、 (360° + 360°) であった。価値はどれか？

a.　０．３＋０．３＋０．１つなぎ＝０．７
b.　０．３＋０．３＝０．６
c.　０．３＋０．３＋０．２つなぎ＝０．８
d.　０．３＋０．７＋０．１＝１．１

１３．ボールの演技で、次のミックス難度を正確に行った 。身体の難度はいくつあるか？

そして、このミックス難度の価値はどれか？

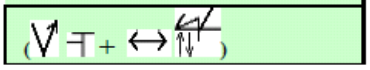
a.　２つの身体難度／０．５＋０．４＋０．１つなぎ＝１．０

b.　２つの身体難度／０．５＋０．４＋０．０つなぎ＝０．９

c.　１つの身体難度／０．６＋０．０＋０．０つなぎ＝０．６

d.　１つの身体難度／０．３＋０．０＋０．１＝１．１

１４．ボールの演技で、次のミックス難度を申告した。

Difficulty	
Value	0.6
	

減点はどれか？

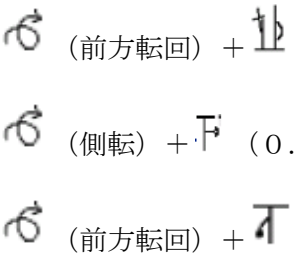
a.　難度要素の（ミックス難度）の不正確な価値のため、Ｄジャッジにより０．３０の減点

b.　ボールの基礎技術要素を伴わないで行われたため、ジャンプは価値がない。

c.　減点なし。

d.　不正確な記号により、０．３０

１５．申告書上で、次の難度を申告した。正しいのはどれか？



a.　減点なし。

b.　同じ身体の回転要素の繰り返しは許されないため、２番目の前方転回はカウントされず、バランス （０．５０）のみの価値が与えられる。

c.　同じ身体の回転要素の繰り返しは許されないため、３つ目のバランス全体が無効となる。

d.　許可されない繰り返しのため、Ｄジャッジにより０．３０の減点。

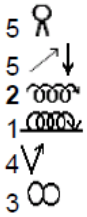
１６．次のうちボールの基礎技術要素にないのはどれか？

a.
b.
c.
d.

１７．ボールの記号　が意味するのは：

a. ボールの「フリップオーバー」
b. 腕の動き（回し）と胴体の大きな動きを伴う。
c. ボールの周りでの手の回転
d. 床上でのボールの上での身体のころがし

１８．ボールの演技で、Ｄジャッジが次の演技を観た。減点はあるか？



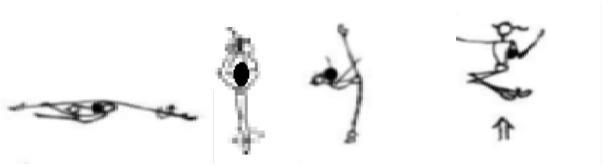
a. 減点なし

b. が含まれていないので０．３０の減点

c. 基礎グループの欠如、０．５０の減点
d. 基礎グループ要素の中で、平均的に行われていないので、０.３０の減点

１９．ボールの不安定な要素の例として、価値がないものは次のどれか？

a.　　b.　　c.　　d.



２０．ボールの演技の際、次のリープ難度を行った。 　；
リープの空中で、手以外で小さな投げを行い、着地し、ボールを受けた。難度は有効か？

a. 無効。小さな投げのみ、１つの基準である。
b. 無効。小さな投げは投げ／受けを伴わなければならない。
c. 有効。その他の手具の技術グループからの技術要素をおこなっているため。
d. 有効。実施ミスがない限り、難度上のいかなる技術要素も有効である。

２１．ボールの演技において、申告書に次の回転を伴うダイナミック要素を申告した。

試合中、次の演技を行った。
前方転回中に足で投げ、空中にある間、前方転回を行い、１歩の後受け、前方転回。

この回転を伴うダイナミック要素の実際の価値はどれか？

a. ＝０．３０

回転中、視野外で手以外での投げ、空中にある間回転、１歩の後受け（－０．１０）

b. ＝０．５

回転中、視野外で手以外での投げ、空中にある間回転、３つ目の回転で受け。

c. ＝０．４

回転中、視野外で手以外での投げ、空中にある間回転、１歩を伴い３度目の回転で受け

d. ０．００　１歩を伴ったため。

２２．ボールで、次の演技を行った。
リープ難度の間に大きな投げ、空中の間に２つの「シェネ」、受けてすぐに前方イリュージョン
いくつの身体の難度を申告しなければならないか？そして回転を伴うダイナミック要素の価値はどれか？

a. 身体の難度１つ（リープ）；ＤＥＲ＝０．３０（３回転）
b. 身体の難度２つ（リープと回転）；ＤＥＲ０．３０（３回転）
c. 身体の難度１つ（リープ）；ＤＥＲ＝０．４０（３回転＋身体の回転軸の変更０．１０）
d. 身体の難度２つ（リープと回転）；ＤＥＲ＝０．４０（３回転＋身体の難度０．１０）

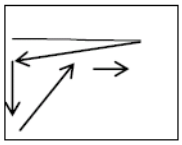
２３．ボールの演技で、選手は次の演技を申請した。

試合中、実施ミスなしで次の演技を行った。

この熟練度の要素の価値はどれか？

a. ０．００（申告書に記載されている通りに演技しなければならない。）
b. ０．２０（３つの必須の基準があり、実施ミスがなかった。）
c. ０．３０（３つ以上のベースと基準を正しく行った。）
d. ０．２０（申告した基準 を抜かしたため、Mの価値である０．３は０．１下がる。）

２４．ボールの演技において、Ｅジャッジが演技面での選手の動きを次のように記録した。
実施審判はどのように対応するか？



a. 減点なし
b. 減点０．２０；移動の様式の多様性の不足
c. 減点０．３０；演技面が十分に使用されていなかった。方向の多様性の不足
d. 減点０．３０；選手の静止

２５．ボールの演技において、実施審判は左手によるボールの３つの動きを記録した。演技の残りの要素は右手で行われた。実施審判はどう対応するか？
a. 減点なし。
b. 減点０．１０
c. 減点０．３０
d. 減点０．５０

２６．選手はボールの演技で、とてもよい技術的実施を行った。演技の全く始めと全く終わりだけに上半身と頭のつながりがある動きであった。芸術的欠点はあるか？
a. 減点なし。
b. ０．１０：ところどころで部分的な動き。
c. ０．３０：演技の大部分において身体と顔の表現に欠ける。
d. ０．５０：身体（部分的な動き）と顔の表情が全体的に欠ける。

２７．ボールの演技において、選手に次の技術的欠点があった。
- 不正確な軌道と２歩の後、空中で受け
  不注意な両手によるボールの受け
- 前腕でボールを保持する、３回
- 落下して、移動せずに取り戻し（１度はずんだ後）

この技術的欠点の合計はどれか？
a. ０．５０
b. ０．６０
c. ０．７０
d. ０．８０

２８．ボールの演技において、選手に次の技術的欠点があった。

- １回のフェッテピボット中に２回のホップ。
- 落下して１歩の後取戻し。
- ４回膝が曲がった。

技術的欠点の合計はどれか？

a. ０．７

b. １．１

c. １．２

d. １．３

２９．ボールの演技において、次の技術的欠点があった。

- 演技面外に落下。
- 明らかに肩を４回上げた。
- ボールを４回上腕で保持した。

技術欠点の合計はどれか？

a. １．０

b. １．３

c. １．５

d. １．７

３０．ボールの演技の際、次の実施の欠点があった。

- 落下して、移動せずにすぐに取り戻した（１回はずんで）
- 音楽が終了した後、最後の動きが終了した。
- 音楽と動きのハーモニーに２度、中断があった。

実施減点の合計はどれか？

a. ０．６

b. ０．８

c. １．０

d. １．３

クラブ

１．最後の難度を行っている際に音楽が終了した場合、減点は何点で誰がその減点を与えるか？　また、難度は有効か？

a.　０．３、Ｄジャッジ、難度は有効。

b.　０．５、Ｄジャッジ、難度は無効。

c.　０．５、Ｅジャッジ、難度は無効。

d.　減点なし。

２．演技の最後に、選手は回転を伴うダイナミック要素を行い、両方のクラブを落下し、そのうち１本は演技面外に出た。減点は何点か？

a.　０．３、コーディネータージャッジ。

b.　０．７、実施審判＋０．３コーディネータージャッジ。

c.　０．７、実施審判。

d.　０．８、実施審判。

３．風車中の不規則な動きに対する減点は何点か？

a.　０．１、実施審判。

b.　０．２、実施審判。

c.　０．１、Ｄ審判。

d.　上記のいずれでもない。

４．大きな投げの後に受けようとして、「不正確な軌道により１～２歩移動して空中で受けた」。減点は何点で誰がその減点を与えるか？

a.　０．１、実施審判

b.　０．３、Ｄ審判

c.　０．３、実施審判

d.　０．５、Ｄ審判

５．減点は何点で、難度は有効か？　バランス難度 の間の非対称な動きで、クラブの操作面の正確性に欠けた。

a.　難度は無効＝０、実施審判による減点０．１

b.　難度は有効＝０．１、実施審判による減点０．１

c.　難度は有効＝０．１、実施審判による減点はない。

d.　難度は無効＝０、実施審判による減点はない。

６．次の文章のうち正しいのはどれか？

a. クラブの演技において、６つの回転を伴うダイナミック要素を行う事ができる。

b. クラブの演技において、単独であろうと、ミックスであろうと、マルチプルであろうと、難度を繰り返すことはできない。

c. クラブの演技において、単独の難度で１回とミックス難度で１回、難度を繰り返すことができる。

d. 上記のいずれも正しい。

７．次の文章のうち正しくないのはどれか？

a. ミックス難度の各構成要素が１難度としてカウントされる。

b. ミックス難度のつなぎは、ステップをはさむことなく（∧）、踵の支持を伴うまたは伴わない（⊤）、回転の場合（ȯ）は、プリエ・ルルベもしくはルルベから床に足をつけて、もしくは身体の別の部分で。

c. 中断なしのつなぎ：　０．１０ポイント

d. 同じもしくは違う身体の動きのグループから、２個もしくはそれ以上の、同じもしくは異なる難度

８．２本のクラブによる小さな回転のシリーズの記号はどれか？

a. ○

b. ×

c. Ⓠ

d. ⊖

９．身体の一部、もしくは床上での１本または２本のクラブの転がしのシリーズの記号はどれか？

a. Ⓠ

b. ∞

c. ↗

d. ⇡

１０．演技において、クラブを脚の間の不安定な位置に置き、バランス を行った。この難度は有効か？有効でない場合、減点はいくつで誰がその減点を与えるか？

a. 難度は有効、減点なし

b. 難度は無効、手具の静止に対して、Ｄジャッジが０．３ポイントの減点

c. 難度は無効、手具の静止に対して、Ｅジャッジが０．３ポイントの減点

d. 上記のいずれも正しくない。

１１．胴の後屈を伴う開脚回転ジャンプの記号はどれか？

a.

b.

c.

d.

１２．クラブの演技において、このミックス難度は有効か、また各難度は別々に繰り返すことができるか？

a. できない。ミックス難度全体が無効となる。
b. できる。ミックス難度全体は有効だが、各形は別々に繰り返すことはできない。
c. できる。ミックス難度全体が有効で、各形は別々に繰り返すことができる。
d. ２番目の難度が無効となり、つなぎの０．１も無効となる。

１３．クラブの演技において、次の難度を行うことは可能か？

バランス そしてフェッテバランス に（脚が水平の）同じバランス があるもの。

a. 不可能、形の繰り返しがあるため。
b. 可能、違う難度であるため。
c. 最初のバランスはカウントされ、２番目は無効となる。
d. 上記全てが正しい。

１４．演技において、１本のクラブが天井の小さな梁にひっかかった。正しいのはどれか？

a. 選手は演技をやり直すことができる。
b. 予備手具を使用できるが、０．５の減点となる。
c. 減点なしで予備手具を使用できる。
d. 予備手具を使用でき、その結果に関してのみ減点となる。

１５．どの文章が正しいか：　演技において、演技の終末にクラブが１本破損した。

a. 選手は演技をやり直すことができる。
b. 予備手具を使用でき、その結果に関してのみ減点となる。
c. 破損した手具で、演技の最後を続けることができる。
d. 手具が破損する前まで、演技が評価の対象となる。

１６．クラブの演技において、次のミスをした。

- 演技の一部で、つなぎとその続きの間が一致しない。
- ２度：音楽のリズムと音楽の特徴と動きにハーモニーが欠ける。
- ジャンプで着地が重い。
- クラブの落下、１本はすぐに取戻し、もう１本は２歩の後取り戻した。

実施審判による減点の合計は何点か？

a.　１．０ポイント

b.　１．３ポイント

c.　１．１ポイント

d.　１．２ポイント

１７．クラブの演技で次のミスをした。

- 演技の大部分において、身体と顔の表現に欠ける。
- バランス難度においてバランスを失い、片手で支える。
- バランス難度において形が固定していない。

実施審判による合計減点はどれか？

a.　０．８ポイント

b.　０．９ポイント

c.　０．７ポイント

d.　１．００ポイント

１８．クラブの演技において次のミスをした。

- 非対称の動きで、クラブの操作面の正確性の欠如。
- 一回の回転中に何度かホップした。
- 風車の際、腕が離れすぎた。

実施審判による合計減点はどれか？

a.　０．４ポイント

b.　０．３ポイント

c.　０．５ポイント

d.　上記のいずれも正しくない。

１９．次の回転を伴うダイナミック要素の価値と記号はどれか？

投げ、シェネを２回、前方イリュージョンそして前方転回中に受け。

a.　R 4 =0.6

b.　R 4 = 0.7

c.　R 2 = 0.3

d.　R 3 = 0.4

２０．クラブの特有の動きではないのは次のどれか？

a. ×

b. ∞

c. ＋

d. ⇔

２１．クラブにおいて次の演技は可能か？　「動脚を水平」にしてバランス難度 （ ０．２）、そして≪動脚を水平≫にして１８０度の≪スローターンの難度≫（ ０．４）？

a.　可能。

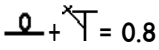
b.　可能だが、２つの難度の間に、２つの他の難度を行わなければならない。

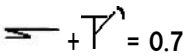
c.　不可能。

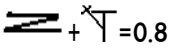
d.　これらのどの答えでもない。

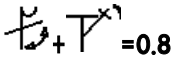
２２．ミックス難度の価値と記号は次のどれか？

脚をまっすぐにして通過させる「スイッチジャンプ」を行い、支持ありで動脚を後方に高く上げてのバランスで終了する。

a.  = 0.8

b.  = 0.7

c.  =0.8

d.  =0.8

２３．次のようにミックス難度を行った。

（踵をつけパンシェ） ２つ目の難度の際、バランスを崩し選手自身はクラブで自分自身を支えた。このミックス難度は有効か？

a.　有効。ミックス難度全体は有効である；実施のミスのみ。

b.　最初の難度のみ有効で、残りは無効となる。

c.　２番目の難度のみ無効となり、つなぎの各０．１も無効となる。

d.　上記のいずれも正しくない。

２４．クラブの演技の際、次のミスをした。

－　クラブを１式落下しすぐに取り戻した。

－　両方のクラブを落下し、最も遠くにあるクラブを４歩移動して、取り戻した。

減点はどれか？

a.　０．３０

b.　０．５０

c.　０．８０

d.　１．００

２５．クラブの演技において、この記号 は何を意味するか？

a.　クラブの非常に速い回転を伴う投げ。

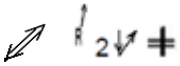
b.　非対称のクラブの操作。

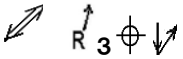
c.　「滝状」の投げ／受け（ダブルまたはトリプル）。

d.　上記の全てが正しい。

２６．回転を伴うダイナミック要素の記号と価値は次のどれか？

２本のクラブの投げ、前方転回を２回、側転の間に１本のクラブをつき返しの後、ミックス受けを伴う床上でのクラブの受け。

a.  =0.5

b.  ＝0.6

c. =0.8

d. =0.8

２７．選手は２本のクラブを投げ、バックルを伴う開脚ジャンプ を行い、ジャンプ中にクラブを２本受けようとしたが、１本のクラブは床に落下し、選手はすぐに取り戻した。

減点は何点で、誰がその減点を行い、難度は有効か無効か？

a.　０．３、実施審判、難度は無効。

b.　０．１、Ｄ審判、難度は無効。

c.　０．３、Ｄ審判、難度は有効。

d.　０．３、実施審判、難度は有効。

２８．次の文章のうち正しくないのはどれか？

a. 深刻な実施ミスで演技が誤って長時間停止し、申告書上の演技を行う時間がなかった。行わなかった難度に対する減点はない。

b. １つの演技に３つのスローターン難度：Ｄジャッジによる０．６の減点。

c. 空間の使用の不足、実施審判による０．３の減点。

d. 各演技の長さは、１分１５秒から１分３０秒。

２９．次の文章のうち正しいのはどれか？

a. 全てのプレアクロバット要素は、静止姿勢なしでまたは手具の受けに伴うわずかな静止により行わなければならない。

b. シリーズで行ったプレアクロバット要素は、回転と投げを伴ったダイナミック要素 R の一部として、単独で再度行うことはできない。

c. プレアクロバット要素は、演技のなかで一度だけ行うことができる。

d. 上記全てが正しい。

３０．プレアクロバット要素が認められないのは、次のうちどれか？

a. 床を離れない前転、後転、横転。

b. 床を離れない前方転回、後方転回、側転。

c. その他は床と接触していない状態で、片手・両手支持もしくは前腕支持で、転回／側転なしで、垂直姿勢で静止も可。

d. 様々なタイプの支持での転回（胸支持、肩支持、片手（両手）支持）は、異なるプレアクロバット要素として考えられる。

リボン

１．次の文章のうち正しいのはどれか？

投げの際、ミスをしてリボンが演技面外に出た。

a.　予備手具のリボンを使用することができる。

b.　コーチから渡された予備のリボンのみを使ってもよい。

c.　予備手具のリボンを使用することは許されていない。

d.　リボンが演技面外に出たことに対しての減点はない。

２．次の答えのうち正しいのはどれか？

リボンが落下し演技面外に出た場合、予備手具の使用は許可されているが、減点が適用される。

a.　０．５０　―　実施審判により演技面外へのリボンの落下に対して減点。

　　０．３０　－　コーディネータージャッジにより、リボンが演技面から出たことに対して減点。

b.　０．７０　－　実施審判により演技面外へのリボンの落下に対して減点。

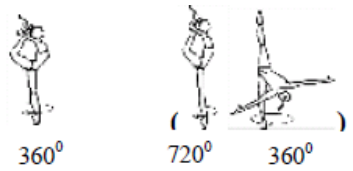
　　コーディネータージャッジによる減点はなし。

c.　０．７０　－　実施審判により演技面外へのリボンの落下に対して減点。

　　０．３０　－　コーディネータージャッジにより、リボンが演技面から出たことに対して減点。

d.　これらのいずれでもない。

３．リボンの演技で、この順番で難度を行った。これは可能か？



a.　可能。

b.　不可能。両方とも無効となる。

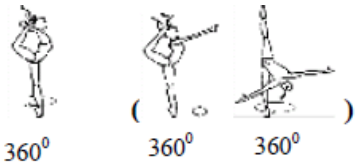
c.　最初のローテーション難度―可能。

　　２つ目のローテーション難度－最初のピボットが無効。

d.　最初のローテーション難度―可能。

　　２番目のローテーション難度－最初のピボットとつなぎの０．１０が無効となる。

４．リボンの演技で、この順番で難度を行った。これは可能か？



a.　可能。

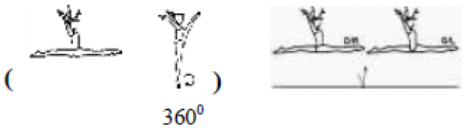
b.　不可能。両方とも無効となる。

c.　最初のローテーション難度－可能。

　　２つ目のローテーション難度－最初のピボットが無効。

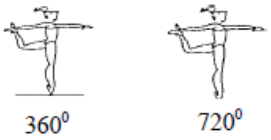
d.　最初のローテーション難度―可能。
　　２つ目のローテーション難度－最初のピボットとつなぎの０．１０が無効となる。

５．リボンの演技において、この順番で難度を行った。これは可能か？



a.　不可能。
b.　可能。
c.　可能だが、多様性の不足に対して減点がある。
d.　２番目の難度が無効となる。

６．リボンの演技において、この順番でピボット難度を行った。これは可能か？

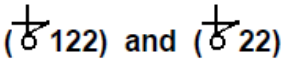


a.　可能。
b.　不可能。両方とも無効。
c.　可能、しかし多様性の不足に対して減点がある。
d.　２番目のピボット難度が無効となる。

７．次の文章のうち正しくないのはどれか？
マルチプルローテーション難度（ピボット）：
a.　全てのピボットは１つの難度としてカウントされる。
b.　各要素は１難度としてカウントされる。
c.　違う形の２つもしくはそれ以上の回転という意味となる。
d.　つなぎにはボーナスはない。

８．次の文章のうち正しいのはどれか？
マルチプルローテーション難度（フェッテ）：
a.　各ピボットは１難度としてカウントされる。
b.　同じ形の２つもしくはそれ以上のピボットが１難度としてカウントされる。
　　違う形のピボット　－　各ピボットが１難度としてカウントされる。
c.　「フェッテ」ピボットの間の各つなぎは＋０・２０
d.　「フェッテ」ピボットのつなぎには、ボーナスは与えられない。

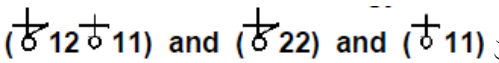
９．リボンの演技において、「フェッテ」ピボットをこの順番で演技した。



これは可能か？

a. 可能。
b. 不可能。両方とも無効となる。
c. 可能だが、多様性の不足に対して減点となる。
d. 2 番目のピボット難度が無効となる。

１０．リボンの演技において、「フェッテ」ピボットをこの順番で演技した。



これは可能か？

a. 可能。
b. 不可能。最初の難度が無効となる。
c. 不可能。2 番目の難度が無効となる。
d. 不可能。2 番目と 3 番目の難度が無効となる。

１１．次の文章のうち正しくないのはどれか？
a. マルチプルローテーション難度（ピボット）＝違う形の 2 つ以上の回転。
b. ピボットに含まれる各形は、最低でも 360 度の回転がなければならない。
c. ピボット中の 1 つの形から次の形への移行は、できるだけ直接に行わなければならない。
d. これらどれも正しくない。

１２．次のうち正しくないのはどれか？
a. 異なるピボットとは、同一の形だが回転の数が違うピボットである。
b. 異なるピボットとは、異なる形のピボットである。
c. マルチプルローテーション難度（ピボット）の間の 1 つの形から次の形への移行は、自由である。
d. マルチプルローテーション難度（ピボット）の間の 1 つの形から次の形への移行は、踵支持なしで、できるだけ直接に行わなければならない。

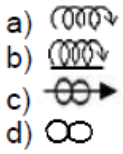
１３．次の答えで正しくないのはどれか？
a. 同じ形のピボット（最高３つ）のシリーズでは、ピボットは中断なしに次々と行わなければならず、踵支持でのみ行う。
b. シリーズの各構成要素は、1 難度としてカウントされる。
c. 同一の「フェッテ」のコンビネーションの各要素は、1 難度としてカウントされる。
d. ピボットにおける中断（ホップ）は、中断する前までにすでに行われていたピボットの価値が有効となる。

１４．次の身体の難度の価値はどれか？

リボンの大きな回旋を伴って支持なしで、開脚を伴うサイドスケールのピボット

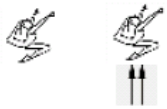
a.　０．５０
b.　０．４０
c.　０．００
d.　これらのどれでもない。

１５．次の手具の操作を表す記号はどれか？
－　身体の一部でリボンのスティックをころがす。



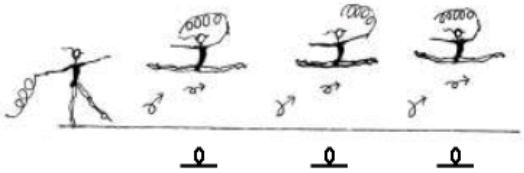
１６．下記のリボンの手具操作は基礎またはその他の技術グループのどちらに属するか？
－　小さな回旋のシリーズ（少なくとも３つ）
a.　基礎
b.　その他
c.　リボン特有ではない
d.　答えはどれも正しくない

１７．リボンの演技において、片足からバックルでジャンプをして鹿ジャンプを行い、そしてその後、手具の基



礎技術の動きを伴って両脚で飛んだ。これは可能か？
a.　可能。ジャンプの価値は同じで、異なるジャンプとみなされる。
b.　可能。ジャンプの価値は異なり、異なるジャンプとみなされる。
c.　不可能。両方のジャンプ共に無効となる。ジャンプの価値が異なり、同じジャンプとみなされる。
d.　不可能。2 つ目のジャンプが無効となる。ジャンプの価値は同じで、同じジャンプとみなされる。

１８．らせんを伴いながら、回転 開脚ジャンプを 3 回のシリーズにて実施した。
この身体の難度の価値はどれか？

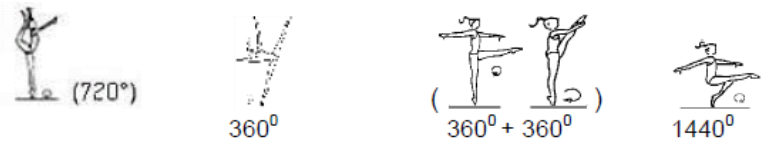


a.　０．３０＋０．１０＋０．３０＋０．１０＋０．３０＝１．１０
b.　０．５０＋０．５０＋０．５０＝１．５０
c.　０．５０＋０．１＋０．５０＋０．１＋０．５＝１．７０
d.　０．５０

１９．次のローテーション難度（360 度）の価値はどれか？

a)	0.30;	0.10;	0.40;	0.50
b)	0.30;	0.10;	0.50;	0.50
c)	0.30;	0.30;	0.40;	0.50
d)	0.30;	0.30;	0.40;	0.40

２０．次のローテーション難度の価値はどれか？



a)	0.80;	0.50;	0.40;	1.20
b)	0.80;	0.50;	0.40;	0.40
c)	0.60;	0.50;	0.50;	0.60
d)	0.80;	0.50;	0.60;	0.80

２１．次のローテーション難度の価値はどれか？

a)	0.30;	0.40;	1.10;	1.20
b)	0.30;	0.20;	0.80;	0.90
c)	0.30;	0.30;	0.90;	1.00
d)	0.30;	0.30;	1.00;	1.30

２２．リボンの大きな投げを伴って移動し、らせんとエシャッペを行いながら、8 秒間、連続的につながりのあるフォークダンスステップを行った。

このダンスステップコンビネーション S→ の価値はどれか？

a.　０．５０

b.　０．３０

c.　０．１０

d.　０．００

２３．回転と投げを伴うダイナミック要素 (R↑) は、演技の中で何個行うことができるか？

a.　最高３個

b.　最低１個

c.　制限なし

d.　これらのいずれでもない

２４．実施の減点の合計はどれか？

リボンの演技で、次のミスをした。

- リボンに結び目ができて、演技が中断した。
- 2 つのローテーション難度において足がスライドした。
- 演技の一部において、演技の一部でつなぎとその動きの間が一致しない。
- プレアクロバット要素において着地が重かった。

a. １．２０

b. １．１０

c. １．００

d. ０．９０

２５．実施の減点の合計はどれか？

リボンの演技の際、次のミスをした。

- 演技全体において、螺旋と蛇形の間隔が十分詰まっていない。
- 3 度にわたって、投げの際にリボンの端が床についた。
- 演技の大部分において身体の顔の表現に欠けた。

a. ０．７０

b. ０．８０

c. １．００

d. １．６０

２６．リボンの演技において、「パンシェ」ローテーション 1080 度 を行い、最後の回転が完全でなく 1 歩を伴って要素を終えた。

この回転難度の価値はどれで、実施減点は何点か？

a. Ｄ －０．８０； Ｅ －０．３０

b. Ｄ －０．６０； Ｅ －０．３０

c. Ｄ －０．８０； Ｅ －０．１０

d. Ｄ －０．００； Ｅ －０．３０

２７．リボンの演技において、「アチチュード」ピボット 1440 度を行い、最後の回転の間にホップを行った。

このピボット難度の価値はどれで、実施減点は何点か？

a. Ｄ －０．００； Ｅ－０．３０

b. Ｄ －０．９０； Ｅ－０．１０

c. Ｄ －０．９０； Ｅ－０．３０

d. Ｄ －１．２０； Ｅ－０．１０

２８．実施の技術的欠点の合計はどれか？

リボンの演技の際、選手は次のミスをした。

- 演技の終了時にリボンを喪失した（接触なし)。
- 2 度にわたり、リボンの図形の乱れ。
- 脚にまきつき、演技が中断。
- バランスを崩した：　移動して余分な動きを入れる。
- 身体の軸が水平でなく、1 歩を伴って回転を終えた。

a. １．４０

b. １．５０

c. １．６０

d. １．８０

２９．実施の減点の合計はどれか？

リボンの演技の際、次のミスをした。

- リボンを落下し、移動せずにとりもどした。
- 不正確な軌道、2 歩を伴って空中で受けた。
- １回のピボットの回転中に２回ホップした。
- 音楽のリズムと動きの間のハーモニーに欠けたのが 4 回

a. １．１０

b. １．２０

c. １．３０

d. １．４０

３０．実施の技術的欠点の合計はどれか？

リボンの演技の際、次のミスをした。

- 両手で不正確な受け。
- 投げの間に選手が静止。
- ローテーション中の形が不明確。
- 不正確な軌道、3 歩もしくはそれ以上の移動し空中で取る。

a. ０．９０

b. ０．８０

c. ０．７０

d. ０．６０

団体

1.次の団体の演技において、誰により何点の減点になるか？

フロアー面への団体の入場が伴奏曲を伴って行われた。

a.　０．５０　コーディネータージャッジ。

b.　０．２０　コーディネータージャッジ。

c.　０．５０　実施審判。

d.　これらのいずれも正しくない。

2．次の団体演技において、誰により何点の減点になるか？

演技の最初に、1 選手が 4 秒より長く手具なしの状態だった。

a.　０．３０　コーディネータージャッジ。

b.　０．３０　実施審判。

c.　０．５０　実施審判。

d.　これらどれも正しくない。

3．次の団体演技において、誰により何点の減点になるか？

演技の最後に、1 選手の 1 手具が破損し、その選手は破損した手具と共に演技を終えた。

a.　０．３０　実施審判。

b.　０．７０　実施審判。

c.　０．３０　コーディネータージャッジ。

d.　０．７０　コーディネータージャッジ。

4．次の団体演技において、誰により何点の減点になるか？

最後のポジションで、何人かの選手が手具との接触がなかった。

a.　０．３０　実施審判。

b.　０．５０　コーディネータージャッジ。

c.　０．３０　コーディネータージャッジ。

d.　減点なし。

5．演技の終了時に、手具を喪失したために音楽と動きハーモニーが欠けた場合の減点合計は何点か？

a.　０．３０

b.　０．８０

c.　１．００

d.　０．５０

6．演技の最後に、1 選手の手具が演技面外に出て、1 選手が演技面外で演技を終了した。正しいのはどれか？

a.　０．５０（実施審判）＋０．３０＋０．３０（コーディネータージャッジ）

b.　０．７０（実施審判）＋０．３０＋０．３０（コーディネータージャッジ）

c.　０．７０＋０．３０（実施審判）＋０．３０（コーディネータージャッジ）

d.　これらどれも正しくない。

７．　2 選手が０．４の価値のピボット難度を行い、他の 2 選手が０．３の価値のジャンプ難度を行い、1 選手が０．４の価値のバランス難度を行った。
この団体の難度の価値の合計はどれか？
a.　０．４０
b.　０．４０＋０．１０
c.　０．００
d.　０．００＋０．３０　D審判による減点

８．　申告書に 11 個の難度を申請し、そのうち 6 つが交換の場合の減点は何点か？
a.　０．５０＋０．５０
b.　０．５０
c.　０．５０＋０．３０
d.　これらどれも正しくない。

９．　申告書上の難度の価値が不正確である場合の減点は何点か？
a.　０．２０
b.　０．５０
c.　０．３０
d.　減点なし

１０．同時に、3 選手が０．４の価値のピボット難度を行い、他の 2 選手が０．１＋０．１＋つなぎ０．１の価値＝０．３の価値のミックスバランス難度を行った。
この団体の難度の合計価値はどれか？
a.　０．７０
b.　０．３０
c.　０．００
d.　これらのどれも正しくない。

１１．交換の際、２つの手具が衝突した後、1 選手が 3 歩移動して手具を取戻した。
一方、もう 1 選手は 1 歩移動して手具を取り戻した。(2 手具共に落下なし)　技術的欠点の減点合計は何点か？
a.　０．７０
b.　１．００
c.　０．９０
d.　これらどれも正しくない。

１２．ボール３つとフープ２つの交換の際、5 選手が身体の動きの要素の間に、6 メートルの距離で手具を投げた。3 選手がパートナーの手具を座位にて受け、2 選手が回転要素の後、手以外で手具を受けた。この交換難度の価値は何点か？

a.　０．４０

b.　０．５０

c.　０．３０

d.　０．６０

１３．２つのＤＥＲを申告し、ダンスステップコンビネーションがなかった演技の団体に対する減点は何点か？

a.　０．３０＋０．５０

b.　０．５０＋０．５０

c.　０．５０

d.　これらどの答えも正しくない。

１４．次の団体演技において、誰により何点の減点になるか？

連係を伴う要素において、１選手が４秒を超えて、手具なしでいた。

a.　０．３０実施審判＋０．００連係を伴う要素の価値（Ｄ審判)。

b.　０．３０Ｄ審判。

c.　０．３０実施審判。

d.　これらどの答えも正しくない。

１５．身体の回転を伴った連係の際、１選手が３歩移動してからパートナーからの手具を受けた。正しいのは？

a.　連係の要素は有効だが、実施減点あり。

b.　連係の要素は無効で、実施減点あり。

c.　連係の要素は有効で、実施減点なし。

d.　連係の要素は無効だが、実施減点はなし。

１６．次の連係を伴う要素の価値は何点か？

４人のパートナーにより持ち上げられた１選手が２つの手具を投げ、その手具が空中にある間に視野のコントロールを失う身体の回転要素（パートナーたちの支持ありで）を１つ行い、その後で１手具を受けた。

a.　０．２０＋０．２０

b.　０．２０＋０．３０

c.　０．３０＋０．３０

d.　これらどの答えも正しくない。

１７．連係を伴う要素の際、２選手が手具を投げ、手具が空中にある状態で、視野外にて２人のパートナーに寄

りかかって身体の回転要素を行い、パートナーから手具を受けた。
この連係の要素の価値は何点か？

a.　０．２０
b.　０．３０
c.　０．４０
d.　これらいずれの答えも正しくない。

１８．５本のロープの演技において、１選手が、３歩動きながら２選手のロープに寄りかかって運ばれた。　減点は何点でこの連係は有効か？

a.　０．３０　難度審判　＝　有効。
b.　０．３０　実施審判　＝　無効。
c.　０．３０　実施審判　＝　有効。
d.　これらどの答えも正しくない。

１９．同時に全ての選手がプレアクロバット要素の前方転回を行ったが、１選手が垂直で静止する要素を行った。減点は何点か？

a.　０．５０
b.　０．３０
c.　０．２０
d.　０．００

２０．ボール２つとリボン３つの演技において、５人の選手は回転と投げを伴ったダイナミック要素 を行ったが、前転のシリーズの際、２人の選手のボールの投げが真上に上がったため、２選手は１回転だけを実施した。Ｄの得点はどれか？

a.　０．１
b.　０．２
c.　ＤＥＲは無効となる。
d.　０．３

２１．ジャンプのシリーズで移動を行っていた選手が、移動の方向が不正確で、３選手はジャンプの形の大きさが維持されていなかった。減点は何点か？

a.　０．１０＋０．３０
b.　０．１０＋０．１０
c.　０．３０＋０．１０
d.　これらどれも正しくない。

２２．フープ３つとリボン２つの演技において、選手が手具を投げた。その後、２選手が上腕の接触を伴ってフ

ープを受け、１選手は２歩移動の後フープを受け、２選手は体に巻きついて演技が中断した。
減点合計は何点か？

a.　１．００
b.　１．３０
c.　１．１０
d.　０．７０

２３．３選手のジャンプ中、スピードの同調性に欠け、脚の位置が不正確だった。
減点は何点か？

a.　０．１０＋０．１０
b.　０．３０＋０．３０
c.　０．１０＋０．３０
d.　０．３０＋０．１０

２４．リボン５つの演技の際、２選手がリボンに結び目を作った。結び目をほどいて演技を中断した後、演技を再開した。減点は何点か？

a.　０．３０＋０．３０
b.　０．１０＋０．１０
c.　０．５０＋０．５０
d.　これらのいずれも正しくない。

２５．演技の大部分において共同作業の多様性を欠き、フォーメーションにおいて長い停止があった。
減点は何点か？

a.　０．３０＋０．３０
b.　０．３０＋０．１０
c.　０．５０＋０．３０
d.　これらどれでもない。